

平成 26 年度 一般社団法人日本建設機械施工協会研究開発助成 助成対象研究開発決定のお知らせ

平成 27 年 2 月 4 日
一般社団法人日本建設機械施工協会

一般社団法人日本建設機械施工協会（J CMA、会長 辻 靖三）は、平成 26 年度の研究開発助成対象研究開発を平成 27 年 12 月 24 日付けで決定しましたのでお知らせいたします。

この「研究開発助成」は、建設機械及び建設施工に関する技術等の向上と普及を図り、もって国土の利用、開発及び保全並びに経済及び産業の発展に寄与することを目的として優れた研究開発・調査研究に対して助成する制度で、本年度は第 8 回目となります。

本年度は、研究開発助成審査委員会（委員長 太田秀樹 中央大学 研究開発機構教授）において過日審査を行い、今般応募 7 件の中から『山留め壁施工時に発生する地盤の摩擦音を活用した難透水層の判別技術（日本大学生産工学部：助教 下村修一氏）』の 1 件（研究開発の概要は別紙のとおり）に対し助成することに当協会会長が決定しました。

問い合わせ先：

一般社団法人日本建設機械施工協会 小櫃
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8
TEL:03-3433-1501 FAX:03-3432-0289

平成26年度助成対象研究開発の概要

○山留め壁施工時に発生する地盤の摩擦音を活用した難透水層の判別技術

日本大学生産工学部 助教 下村修一氏

<研究開発の概要>

山留め工事で止水工法を採用する場合、ソイルセメント壁を難透水層に到達させ、根切り場内の地下水位を低下させることが多い。しかしながら、施工時における壁長の管理は地盤調査結果に基づく長さ管理であり、施工時に難透水層への着実な根入りを客観的に確認する技術は確立していない。本研究では、施工時に得られる施工機械と地盤間の摩擦音を用いて難透水層の有無をリアルタイムに判別する施工管理技術を研究開発し、この技術の確立により施工の合理性ならびに品質の向上を図るものである。

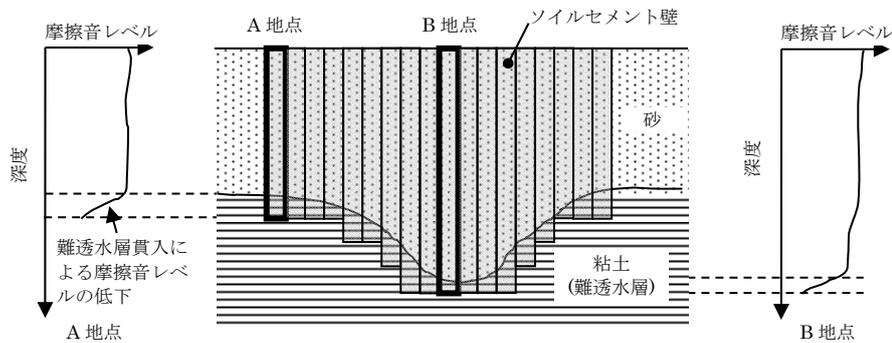


図1 リアルタイムで収録する摩擦音のイメージ

1. 研究開発助成の趣旨

本事業は、一般社団法人日本建設機械施工協会の定款及び事業計画に基づき建設機械及び建設施工に関する技術等の向上と普及を図り、もって国土の利用、開発及び保全並びに経済及び産業の発展に寄与することを目的として、優れた研究開発・調査研究に対して助成することを目的とします。

2. 助成対象者

- ①大学、高等専門学校及びこれらの附属機関に属する研究者及び研究グループ
- ②法人格を有する民間企業等の研究者及び研究グループ

3. 応募期間

平成26年8月1日 から 平成26年10月31日

4. 研究期間

平成27年2月から平成28年3月末

5. 成果の発表等

平成28年11月頃開催予定の「建設施工と建設機械シンポジウム」にて発表 又は 当協会へ論文として投稿(機関紙「建設機械施工」に掲載)

6. 選考の方法

応募資料に基づき、研究開発助成審査委員会において選考

7. 平成26年度 研究開発助成審査委員会委員

委員長	太田 秀樹	中央大学研究開発機構 教授
委員	阿部雅二郎	長岡技術科学大学 工学部 教授
	小林 泰三	福井大学大学院 工学研究科 准教授
	鈴木 嘉昌	一般社団法人日本建設機械施工協会建設業部会長
	木川田一弥	公益社団法人土木学会 建設用ロボット委員会
	藤野 健一	独立行政法人土木研究所技術推進本部 先端技術チーム 主席研究員
	山元 弘	国土交通省関東地方整備局関東技術事務所長
	見波 潔	一般社団法人日本建設機械施工協会業務執行理事
	渡辺 和弘	一般社団法人日本建設機械施工協会事務局長